

分類	1-15	教科名	農業	科目名	造園基礎	
対象学科 (コース)	全学科			学 年	1	単位数 2
指 導 目 標	造園に必要な基本的知識と基本的技術を習得させ、緑地の持つ機能を理解させるとともに、目的や環境に応じた造園空間を創造する能力と態度を育てる。また、造園緑化材料について、観察・実習を通して、造園空間を構成するために必要な植物材料や岩石材料の特性とその取扱いを具体的に理解させる。					
内 容	(1) 造園の意義と緑地環境の役割 (2) 環境と造園の様式 (3) 造園緑化材料					
内容の取扱い	(1)については、造園の目的は、人間にとって住みよい、質の高いアメニティのある環境の創造であることを理解させる。(2)については、日本と外国の造園様式を、それぞれの国や地域の自然環境、文化的環境および社会的環境と関連付けて理解させる。(3)については、校内樹木見本園内にある樹木の観察や実習を通して、造園空間を構成するために必要な材料の特性とその取り扱いを理解させる。					
指 導 計 画	学 期	指 導 事 項	指 導 内 容			予定時間
	1 学 期 4～6 月	日本の造園史	造園の定義、古代・飛鳥時代・平安時代の庭園について			20
		〃	鎌倉時代・室町時代・安土桃山時代・江戸時代の庭園について			
		〃	明治時代・大正時代・近年の庭園について			
	2 学 期 7～11 月	造園緑化材料	樹木管理実習 (サツキツツジ等) の刈り込み・管理、及び芝の手入れ実習 樹木スケッチ			28
		〃	〃			
		製図の基礎	造園・土木製図の基礎、及び実技実習			
		〃	〃			
	3 学 期 12～3 月	造園技術	縄結び実習			22
		造園緑化材料	植物材料 岩石材料			
		〃	その他の材料			
		造園管理 緑地計画	管理の必要性 造園緑化材料の特性を踏まえ、緑地の持つ機能、目的や環境に応じた造園空間について			
教科書・副教材他	「造園」(実教出版)					

評 価 規 準					
評価項目・対象	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	評価比重
講 義	◎	○		○	
実 習	◎	○	◎	○	
定 期 考 査		○		◎	
レ ポ ー ト		○	○	◎	
評 価 の 重 点	座学と実習と定期考査の総合評価、高校生として「学ぶ」態度と姿勢を特に重視する。				